

思いやりあふれる風が吹く



ASAHI UNIV.

NO. 26

2012.JULY

ぶらざ村上

発行日／平成24年7月25日 企画編集／広報委員会

●副院長就任のごあいさつ	消化器内科教授 小島 孝雄	2
●副院長就任のごあいさつ	脳神経外科教授 郭 泰彦	3
●新任紹介		3~4
●乳癌治療の現在	乳腺外科教授 川口 順敬	4~5
●ここまで、見る。	看護部 大山 眞弓	5
●病院西館竣工	管理課 加藤 祐司	6
●シリーズ 健診センター便り	医事一課 小林 小恵子	6
●喫茶・売店がリニューアルオープンしました		7
●シリーズ 医食同源 NO.11 ~おいしい減塩食~		7
●診療医のご案内		8





副病院長就任挨拶



消化器内科教授
小島 孝雄

平成24年4月1日付けで朝日大学歯学部附属村上記念病院の副病院長を拝命いたしました。伝統ある当院で重責のある立場になることにつきまして、非常に名誉であるとともに重荷もひしひしと感じておりますが、当院のさらなる発展に寄与できるよう努力いたす所存でございます。

私は、昭和60年11月に当院に消化器内科医として赴任し、主に、肝臓、胆道、膵臓疾患を中心とした診療・研究・教育に従事してまいりました。また、平成16年からは併設する総合健診センターのセンター長として人間ドック受診者の健康管理や生活習慣病予防の仕事に取り組み、さらに、平成21年からは、周辺の診療所や病院との病診・病病連携を進める地域医療連携室の室長の仕事にも携わっております。

今後は、副病院長として、広く病院の運営・管理などに

も目を向け、他の副病院長とともに大橋宏重新病院長を支え、安心・安全で信頼性の高い医療を皆様に提供できるように尽力したいと考えております。

5人の副病院長には、仕事の役割分担がなされておりますが、私に課せられた仕事は、総合健診センター長と地域医療連携室長を兼ねておりますことから、病院の理念でもある「充実した予防医学の実践」、そして、病院の方針である「健康管理と生活習慣病の予防」のため、平成24年5月1日に病院西館に移設新築オープンいたしました総合健診センターをさらに充実させて、受診者の皆様の健康維持・増進、ひいては予防医学の普及や発展に努力いたします。また、地域医療連携室長として、病院方針に基づき、地域医療へ積極的に参加し、地域の先生方と綿密な連携がとれる体制をとり、診療所や病院との連携を更に推し進めて、スムーズな患者さんの受け入れと、後方連携に力を入れていく所存です。

患者さんや人間ドック受診者の皆様の権利を尊重し、病院の理念・方針に基づいて医療を励行し、皆様方にさらに信頼していただける病院として発展しますよう、今後とも精一杯努力してまいりますので、何卒よろしく、お願い申し上げます。

病院の理念

朝日大学歯学部附属村上記念病院は、信頼性の高い医療の提供と充実した予防医学により社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立った医療を行います。
2. 高度で安全・質の高い医療を行います。
3. 安全・高度な歯科医療を医科と連携して行います。
4. 地域と連携して、きめ細やかな医療サービスを提供します。
5. 健康管理と生活習慣病の予防に努めます。
6. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

患者さんの権利

わたしたちは患者さんの、以下の権利を尊重します

1. 一人一人の人格や価値観を尊重した医療を受けること。
2. 高度で良質・安全な医療を受けること。
3. 十分な説明と情報提供を受け、自分の意思で治療法などを選択すること。
4. 個人情報保護されること。
5. 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めること。

2010年6月1日改正

副病院長就任のごあいさつ



脳神経外科教授
郭 泰彦

平成24年4月1日から村上記念病院副病院長に就任いたしました。先輩の4人の副病院長と共に大橋病院長を補佐して病院運営に力を尽くす所存です。主に救急医療に関する事柄を担当させていただくことになりました。平成16年以降、脳神経外科部長として脳卒中の急性期医療などを通じて、当院の救急医療に関わってまいりましたが、この分野のより一層の充実をはかりたいと思っております。当院は専門性を追求した高度医療の実践を目指しておりますが、救命救急センターを併設していないこともあり、とすれば救急医療に対する態度がやや消極的であった感は否めません。しかし、救急

医療というのは医療の原点であり、これをおろそかにしては専門的な高度医療の追求も成り立ちませんので、より積極的な取り組みが必要であることは明らかです。職員一同がこの認識を共有して、救急医療の充実に向けた取り組みを始めております。

脳卒中の救急に関しましては、昨年8月から脳卒中センター当直体制を布くことにより、365日24時間専門医が常駐することになり、一刻を争う脳卒中に対し、より迅速かつ効果的な対応をはかることができるようになりました。また病院全体としても、当直3人体制となり、受け入れに関するキャパシティーが増えたことにより、救急患者数の増加という好影響が出ております。今後はこのシステムを維持し、より良いものにしていくことが必要であると思っております。

救急医療を充実させることで地域住民の皆様のお力になれますように努力いたしますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新任紹介



外科 医師
高橋 有和
(たかはし ゆうわ)

外科専攻医です。主に手術に関わる入院患者さんを担当することが多いかと思ひます。よろしくお願ひします。

(2012年4月1日 赴任)



呼吸器内科 医師
大栗 久弥
(おおくわ ひさや)

呼吸器疾患を担当させていただきます。よろしくお願ひします。

(2012年4月1日 赴任)



脳神経外科 医師
船津 奈保子
(ふなつ なおこ)

脳神経外科一般を担当させていただきます。よろしくお願ひします。

(2012年4月1日 赴任)



乳腺外科 教授
川口 順敬
(かわぐち よしひろ)

乳腺疾患、乳癌の検診、診断、術後・再発治療を担当させていただきます。よろしくお願ひします。

(2012年4月1日 赴任)

患者の
皆さまへ

乳癌治療の現在



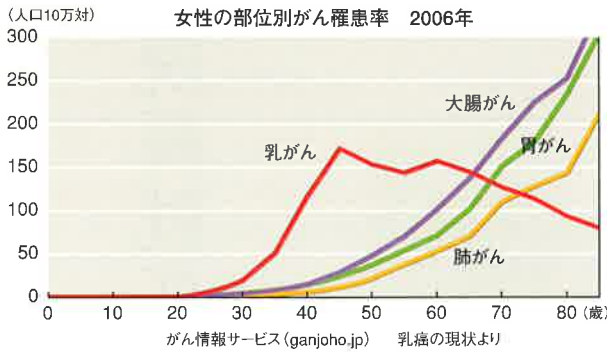
乳腺外科教授
川口 順敬

2012年4月1日、村上記念病院乳腺外科の部長に就任いたしました。現在常勤医2名の乳腺専門医にて診療を行っています。

関する病気を扱います。乳腺のしこり、痛み、乳頭からの分泌物などを診察します。女性だけが対象と思われがちですが、乳腺組織は男性にもあり、乳房の様にふくらんでくる女性化乳房や、男性の乳癌もあり、男性も対象となります。

乳腺外科で最も問題になるのが乳癌です。乳癌は最近増加傾向が著しく、女性の癌罹患率(癌になる率)では1位となっています。現在女性20人に1人が乳癌にかかるというわれ、知り合いの方に1人や2人は乳癌の人がいらっしやると思います。芸能人の中にも乳癌で亡くなった方や治療を受けたことを公表している方も多く、乳癌が社会的にも注目されています。

乳癌は比較的若い世代から発症します。40歳代後半に最もかかる人が多く、社会的に頼りにされる時期に発症するため、ご本人はもと



より、家族や職場にも大きな負担となります。最近では20〜30歳の人にも見つかるようになってきました。

すこでも乳癌で命を落とす人を減らすために、乳癌検診が勧められています。40歳以上の女性は、問診、視触診、乳房X線検査(マンモグラフィ)による検診が推奨され、全国の市町村で行われています。乳癌検診の話は聞くけど、検査が痛いと感じ、しこりはないから受けなくて大丈夫という方がいらっしやる。以前は「視触診のみ」の検診が行われていましたが、注意深く触診をしても見つけれられる乳癌の多くは、1〜2cm程になっており、すでに腋(わき)へのリンパ節転移を来している場合もあります。しこりを作らず進行する乳癌もあり、触診だけでは早い時期に乳癌を見つけるのは困難です。

触診でわからない乳癌を見つけるため、検診ではマンモグラフィ検査を行います。乳房をプラスチック板で挟んで撮影するため多少痛い場合がありますが、撮影するほんの数秒間であり、上手に圧迫することで病変がわかりやすくなり、放射線の影響も軽減できます。

マンモグラフィは撮影・診断に経験や技術が必要とするため、マンモグラフィ精度管理中央委員会が認定する資格制度があります。当院では、認定された放射線技師、乳腺外科医師にて撮影・診断を行っていますので、痛みが少なく安心して乳癌検診を受診していただけます。今年5月に西館が完成し、総合健診センターが新しくなりました。マンモグラフィ撮影装置も新しくなりましたので、ぜひ受診なさってください。

検診にて異常を指摘されても、全員が乳癌というわけではありません。以前はまず病変部の切開手術をして診断していましたが、現在は、吸引細胞診・針生検・マンモトーム生検など、できる

新任紹介



循環器内科 医師
八巻 隆彦
(やまき たかひこ)

循環器内科一般を担当させていただきます。よろしく申し上げます。

(2012年7月1日 赴任)



外科 講師
秦 浩一郎
(はた こういちろう)

消化器外科、特に肝・胆・膵外科が専門です。よろしく申し上げます。

(2012年7月1日 赴任)



糖尿病・内分泌内科 医師
柳瀬 匡宏
(やなせ まさひろ)

糖尿病、内分泌疾患を担当させていただきます。よろしく申し上げます。

(2012年4月1日 赴任)

限り傷が残らず、痛みの少ない方法で診断できるように
なっています。当院では石灰化でしかわからない病変について、マン
モグラフィで立体的な位置を確認しつつ、マンモトームを用いて
石灰化部分の検査ができます。

乳癌の手術方法も大きく変化してきました。以前は、乳房を
全部切除し、腋のリンパ節も取ってしまうことで、大きい手術創
による痛みやリンパ浮腫による手の腫れなど、日常生活に支障
がある上に、胸部の変形が強く、女性にとってはつらい状態で
あると思います。

最近では、乳癌の部位をMRI検査などで特定し、病変部と
その周辺のみを切除し正常な部分は出来るだけ残す、いわゆる
乳房温存手術が手術の半数を占めるようになりました。また腋
のリンパ節に転移がないと考えられる時は、センチネルリンパ節
生検法を行うことで、転移がある場合だけリンパ節を切除する
ような縮小手術が可能になりました。いずれの方法も、放射線
科の医師・技師と乳腺外科の協力がなくしてはできません。

早い時期に見つかっても、乳房全体に広がるような乳癌も
あり、このような場合は、乳房を全部切除しなければなりません。
このような場合でも、人工物を後から入れることにより乳房
形成が可能です。当院でも近隣の形成外科医のご協力をいただ
き、乳房形成をご希望の場合にも対応できるようになりました。

乳癌に限らず、癌は手術で取りきれれば大丈夫と思われる方が
多いと思います。しかし、癌が怖いのは、最初にできた場所に
とどまらず、全身に流れ、他の臓器で再発することです。乳癌も
同じで、周辺の組織に入り込んでいく癌(浸潤癌)の場合は、血流
に乗って全身に散らばる可能性があり、全身的に効果がある
内分泌治療や抗がん剤治療が必要になります。手術後は、乳癌
の性質に合わせた治療を行うことが原則となっており、同じ乳癌
の診断であっても、個々に治療法が異なり、術後10年までは治療
や経過観察が必要です。また分子標的治療と呼ばれる最新の

薬を使用した治療が効果的な乳癌もあります。

乳房温存手術を行った場合は、局所再発を減らすために放射
線治療が必要になります。これらの組み合わせを適切に行っ
ることにより、乳癌の再発を最小に抑えることが可能になります。
当院では西館の完成に合わせて放射線治療装置を導入いたし
ました。これまでは他の医療機関でお願いしていた放射線治療
もこれからは当院でできるようになります。

また、いろいろな事情で、検査が受けられず、乳癌が進行して
しまった状態や、乳癌再発で来院される方もあります。このよう
な場合でも、抗がん剤治療・内分泌治療などで腫瘍を小さくした
上で手術を行う方法や、まず痛みなどの症状をとるため、放射
線治療などを行う場合もあります。いろいろな治療を総合して
行う集学的治療が可能ですので、まずは受診していただくこと
が大切です。

乳癌の性質・状態によって抗がん剤を使用しなければなら
ない場合もありますが、こちらでも薬の発達により、以前に比べて
はき気等の副作用はかなり抑えられるようになっていきます。当院
では抗がん剤治療が必要な患者さんには、薬剤師・看護師も
治療に参加し、つらさを感じることがないように配慮しています。
また歯科医も常勤しているので、抗がん剤で起こってくる口内
炎などの口腔ケアも適時行っております。

このように、現在の乳癌治療は、乳腺外科だけで治療ができる
時代ではなく、関連する診療科や薬剤師・看護師・技師、さらに
は地域の開業医の先生の協力が必要になっていきます。病院の
総合力が問われるのが乳癌治療と考えています。

乳癌の領域は毎年新しい治療薬が発表される進歩の早い分
野です。当院では、関連する各科と協力しつつ、最新の医療を提
供するよう努力し、乳癌の患者さん一人一人の生活を考えた治
療を進めていきたいと考えております。今後ともどうぞよろし
くお願い申し上げます。

いっしょまで、看る。

看護部 大山 真弓

5月12日はフロレンス・ナイチンゲールの誕生
日にちなみ「看護の日」とされ、「看護のこころを
みんなの心に」をメインテーマとして様々な活動が
されています。当院では5月8日～11日(4日間)
を看護週間とし、ポスター掲示と健康相談、感染
予防のための手洗い体験などを行いました。

ポスター掲示では部署の紹介に加え、東日本大
震災での活動紹介を、様々な工夫を凝らして作成し、
多くの方が足を止めて見てくださいました。

健康相談は毎年継続して行っており、とても
多くの方に参加していただいています。参加者の
中には過去に参加された方もおられ「去年より
良くなった!」と言んだり、初めて体成分測定を
経験し、「私はこんなに脂肪があるのね…」と実感
された方もおられました。

近年、ノロウイルスやインフルエンザ、O157
などの感染症がニュースで
大きく取り上げられてい
ます。手洗いが大事なこ
と誰かが知っていること
と思いますが、手洗い体験では
「しっかり洗ったのにこんな
に汚い!もったいなくと洗
わない!」などの声が聞かれ
いかに手洗いが大事かを体
感していただく機会にな
りました。

これらの活動を通して多
くの方とふれあい、私たちの
看護の心をみなさまにお届
けできたと感じています。



病院西館竣工

管理課 加藤 祐司

2012年4月27日、病院西館が竣工しました。工事は昨年2月に着工し、14カ月を経てこのたび完工しました。

この間、本年2月に本館正面玄関が新たにオープンし、また、4月にはホスピタルロウンとしては岐阜県内で1号店となるロウンが、また、喫茶カフェサルーンもオープンしました。

4月27日に開催しました竣工式には、本学宮田佑理事長をはじめとした役員が出席し、また、岐阜県医師会の青木靖副会長らのご臨席も賜り厳かな中、執り行われました。

その後の見学会に続き、西館1階において行われた祝賀会には、官庁、市内の病院及び経済界からも多数の方に参加をいただき、盛大に行われました。これまでの工事中、正面玄関の閉鎖、騒音・振動の発生、また、周辺道路の交通規制等本院を利用いただく方をはじめ、周辺地域の住民の皆様にも多大なご迷惑をおかけしました。これまでのご理解・ご協力に対してこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、今後は、本館及び東館の改修工事を引き続き行います。可能な限り環境整備を行うための工事で、引き続き皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

朝日大学歯学部附属村上記念病院 西館新築



医事一課 小林 小恵子

総合健診センターオープン

健診センターの特色

当院総合健診センターは本年4月27日に竣工式及び内覧会を行い、5月1日から利用いただけるようになりました。

新しくなった施設は、当院西館の1階・2階にあります。移転前と比べて1.5倍の広さとなり、ゆったりとした空間の中で健診を受けられるようになりました。今後もスタッフ一同、皆様の健康の維持・増進に努めて参りますのでどうぞご利用ください。

- ①健診で使用する検査機器を一新し、最新機器の導入により、さらに精度が向上しました。また、設置台数を増やし、スムーズに受診できるようになりました。
- ②月曜日に実施していた定期健診、曜日対応で実施していた婦人科・乳癌検査も、今回からはほぼ毎日実施することとなりました。
- ③1日あたりの受診枠を増やし、予約・変更の幅が広がりました。
- ④多彩な健診コースとオプション検査の組み合わせにより、個々にあった健診が可能となりました。

施設案内



酸素カプセル



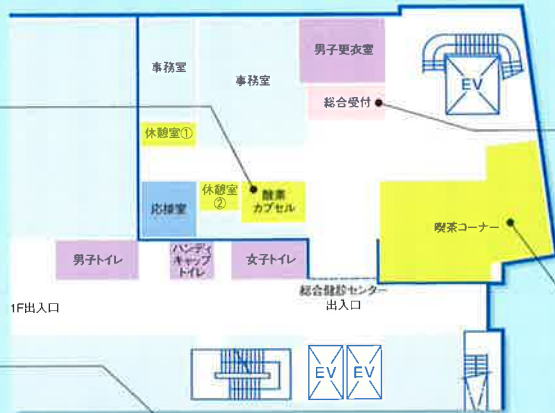
診察・面談室



内視鏡室



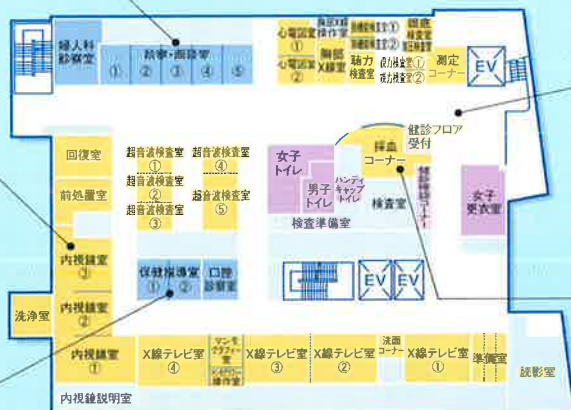
保健指導室



受付



喫茶コーナー



健診フロア



採血コーナー

トピックス

喫茶・売店がリニューアルオープンしました

「ホスピタルローソン」

皆さんご存じのコンビニ、ローソンが通常の商品に加え、医療用品を取り扱う『ホスピタルローソン』としてオープンしました。

定番のおにぎりやサンドウィッチ、ソフトドリンク、お菓子等の飲食物、雑貨に加え、店内調理の「からあげクン」「しちき」等のファーストフードも取りそろえております。

また、ホスピタルローソンとして、多数の医療用品も取扱いしています。

100円お買い上げ毎に1ポイントたまり、1ポイント1円にて全国のローソンや提携企業でご利用いただける Pontaカードの申込みも随時受け付けております。

皆さんのご来店を心からお待ち申しあげております。



営業時間

7:00~22:00
(年中無休)

「カフェ・サルデーテ」

2012年4月9日、東館1階に喫茶「カフェ・サルデーテ」がオープンしました。

カフェ・サルデーテは、黒・白・茶を基調とし、完全バリアフリーでゆったりとした室内と、クラシックの流れる落ち着いた雰囲気により、癒しの空間を演出しております。

料理はイタリアンをベースとし、白いキャンバスをイメージした日替わりプレートランチ(650円)・8種類のパスタ(700円・サラダ付き)をご用意しております。

また、飲み物は世界のコーヒーを中心に、バラエティ豊かに取りそろえています。

デザートには、ボリュームのあるパンケーキ・ワッフル、珍しいアイスケーキはいかがでしょうか。

大好評のモーニングセットは、ドリンク・トースト・サラダ・玉子のセットで400円となっております。

オープン間もないカフェ・サルデーテですが、お客さまに素敵な時間を過ごしていただけるようお手伝いさせていただきます。スタッフ一同、皆さんのご来店を心からお待ち申しあげております。



営業時間
平日 8:00~18:00
土 8:00~15:00
日・祝 定休日



シリーズ 医食同源 NO.11 おいしい減塩食

管理栄養士 高橋 貞子

塩分をとりすぎると血圧が上がり、心疾患・脳血管障害・腎臓病などになりやすいです。

無理のないおいしい減塩食を紹介します。



米麩、塩、水だけでつくる「塩麩」を使用しました。麩菌の働きで鶏肉が柔らかくなり、深い味わいになります。



鶏肉の麩から揚げ南蛮ソース

(酢で減塩サポート)

(275kcal、塩分1.8g)

材料 1人分			
鶏もも肉	90g	揚げ油	7g
塩麩	8g	たまねぎ	15g
酒	2g	レッドたまねぎ	10g
生姜	2g	パプリカ	5g
片栗粉	7g	あさつき	3g
		しょうゆ	4g
		だし汁	5g
		砂糖	2g
		酢	5g
		ラー油	少々

作り方

- 鶏もも肉にAで下味をつける。
- 片栗粉をつけ、油であげる。
- Bをひと煮立ちさせ、揚げた鶏肉やスライスたまねぎなどを入れる。
- 彩り良く盛り付ける。

れんこんサラダ (高カロリーのマヨネーズは塩分が少ない) (81kcal、塩分0.3g)

材料 1人分

れんこん	40g
きゅうり	20g
人参	10g
かに風味かまぼこ	7g
茹で大豆	10g
パセリ	1g
生わかめ	1g
こしょう	少々
マヨネーズハーフ	5g

作り方

- れんこん、人参はいちょう切りにしてサッと茹でる。
- きゅうりは輪切りにする。
- かまぼこをほぐし、パセリはみじんにする。
- 材料に、マヨネーズ、こしょうで味をととのえる。

フルーツ (カリウムが多く血圧に良い) (30kcal)

材料 1人分

オレンジ	40g	キウイ	20g
------	-----	-----	-----



診療医ご案内

(平成24年7月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	伴	下村 (非常勤)	大洞	加藤(隆)	宮脇 森中 本村
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	奥田	加藤(隆)
	予約診	森本	中村	宮脇	伴	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	谷島 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井	武田	武田	猿井	猿井	武田
		柳瀬	柳瀬	佐々木	佐々木	武田	佐々木
呼吸器内科		大栗	栗林	舟口 (非常勤)	栗林	栗林	大栗
外科		久米	久米	秦	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	(高橋)	秦	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科	初診	川口	細野	細野	細野	川口	細野(第1・3・5週目) 川口(第2・4週目)
	予約診	細野	川口	川口	川口	細野	—
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤 (非常勤)	郭
		山下	辻本	船津	辻本	—	船津
整形外科	初診	日下・河合	青芝・山賀	塚田	後藤	前田	担当医
	予約診	後藤	今泉	前田	河合	大友	今泉 (第1・3週目)
	予約診	—	塚田	日下	山賀	日下	日下・塚原 (第2週目)
	予約診	—	—	青芝	塚原	今泉	—
眼科	1診	田中 (非常勤)	田中 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
歯科・口腔外科		村松・本橋	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

[ご案内] ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

[予約診療について] (一部の診療科を除き、初診の予約診療は行っていません。)

	予約・予約変更連絡先	予約変更受付時間(曜日)
●内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●糖尿病・内分泌内科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●外科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●脳神経外科	(058) 253-9921	9:00～16:00 (月～金曜日)
●整形外科(再診は予約制です。)	(058) 253-5223	13:00～16:00 (月～金曜日)
●眼科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●泌尿器科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●乳腺外科(初診・再診とも予約をおとりください。)	(058) 253-8001 (代表)	14:00～16:00 (月～金曜日)
●婦人科(初診・再診とも予約をおとりください。)	(058) 253-8001 (代表)	14:00～16:00 (月～金曜日)
●歯科・口腔外科	(058) 252-6947	8:30～16:30 (月～金曜日) 8:30～12:00 (土曜日)

朝日大学 村上記念病院 (病院機能評価認定病院) (人間ドック・健診機能評価施設)

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>